

# 強度行動障害支援者養成研修

## 研修内容及びカリキュラム表

基礎研修

平成28年10月24日(月)～11月14日(月)

月日	研修科目名	研修時間 (実質時間数)	内 容	講師名	実施会場		
① 10 / 24 (月)	オリエンテーション	10:15～10:30 (0:15)	・研修にあたっての注意事項等	事務局	京都府 中小企業 会館8階 802会議室		
	I 講義 1. 強度行動障害がある者の基本的理解	10:30～12:00 (1:30)	①強度行動障害とは ・本研修の対象となる行動障害 ・強度行動障害の定義 ・強度行動障害支援の歴史的な流れ ・知的障害／自閉症／精神障害とは ・行動障害と家族の生活の理解 ・危機管理、緊急時の対応	国立のぞみの園 研究部部长 志賀 利一			
	I 講義 2. 強度行動障害に関する制度及び支援技術の基礎的な知識	13:00～14:00 (1:00)	②強度行動障害と制度 ・自立支援給付と行動障害 ・支援区分と行動関連項目 ・重度訪問介護の対象拡大 ・発達障害者支援体制整備 ・強度行動障害支援者養成研修	京都市児童福祉センター 副センター長 門 眞一郎			
	I 講義 1. 強度行動障害がある者の基本的理解	14:10～15:10 (1:00)	③強度行動障害と医療 ・強度行動障害と精神科の診断 ・強度行動障害と医療的アプローチ ・福祉と医療の連携				
	I 講義 2. 強度行動障害に関する制度及び支援技術の基礎的な知識	15:20～16:20 (1:00)	④構造化 ・構造化の考え方 ・構造化の考え方基本と手法 ・構造化に基づく支援のアイデア	障害者支援施設 翼 施設長 西田 武志  福) 南山城学園 障害事業局長 奥村 一貴			
		16:30～17:00 (0:30)	⑤支援の基本的な枠組みと記録 ・支援の基本的な枠組み ・支援の基本的なプロセス ・アセスメント票と支援の手順書の理解 ・記録方法とチームプレイで仕事をする大切さ				
		17:00～17:30 (0:30)	⑥虐待防止と身体拘束 ・虐待防止法と身体拘束について ・強度行動障害と虐待				
		17:40～18:40 (1:00)	⑦実践報告 ・児童期における支援の実際 ・成人期における支援の実際				
	② 11 / 14 (月)	II 演習 1. 基本的な情報収集と記録等の共有	9:30～10:30 (1:00)	①情報収集とチームプレイの基本 ・情報の入手とその方法 ・記録とそのまとめ方と情報共有 ・アセスメントとは		福) 南山城学園 スーパーバイザー 澤 月子	京都府 中小企業 会館2階 大ホール
		II 演習 2. 行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解	10:40～12:10 13:00～14:00 (2:30)	②固有のコミュニケーション ・様々なコミュニケーション方法 ・コミュニケーションの理解と表出 ・グループ討議／まとめ		京都市児童福祉センター 副センター長 門 眞一郎	
II 演習 3. 行動障害の背景にある特性の理解			14:10～17:00 (2:30)	③行動障害の背景にあるもの ・感覚、知覚の特異性と障害特性 ・行動障害を理解する水山モデル ・グループ討議／まとめ			